

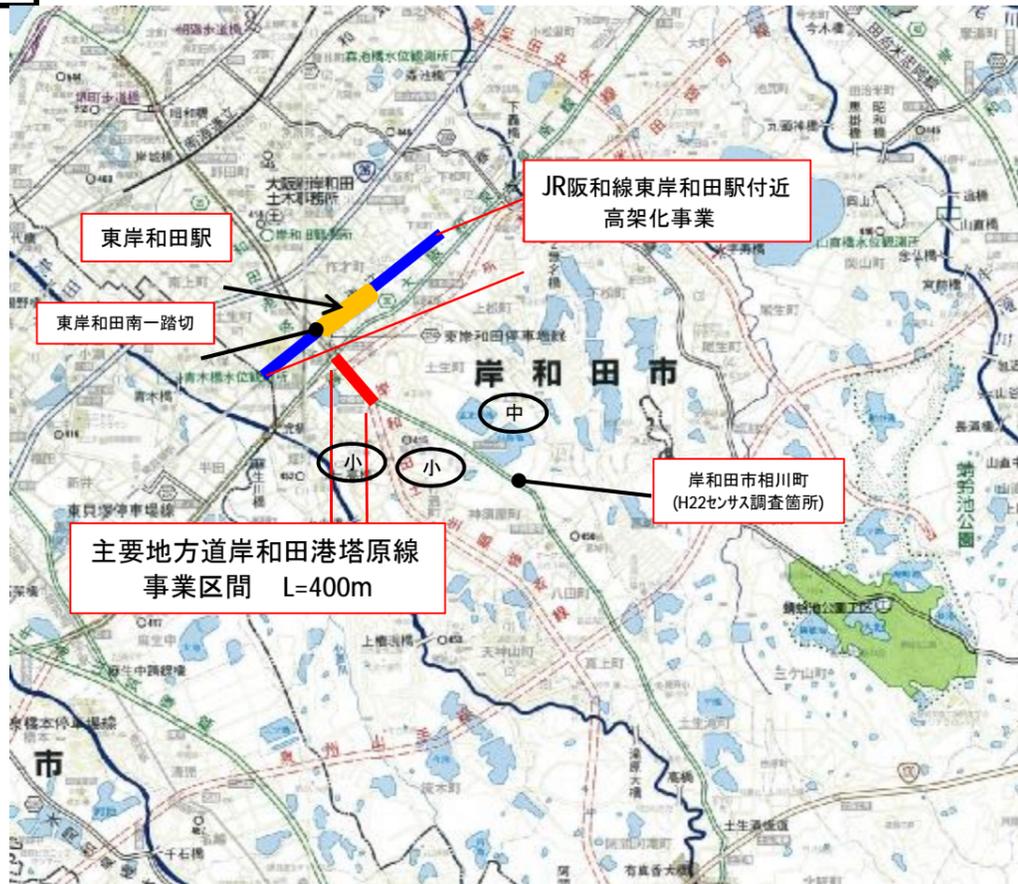
平成 27 年度 事前評価点検表（内部評価）

事業名	主要地方道 岸和田港塔原線 歩道整備事業	
担当部署	都市整備部 交通道路室 道路整備課 建設グループ（連絡先 06-6944-9276）	
事業箇所	岸和田市土生町	
事業目的	本路線は、岸和田市内を南北に縦断する主要幹線道路であり、交通量も非常に多く、また J R 阪和線 東岸和田駅へのアクセス道路であり、通勤・通学等多くの市民に利用されているにも関わらず、府道大阪和泉南線以南では、一部区間を除き歩道がなく危険な状態である。現在、当地区に隣接して事業中の J R 阪和線の高架化により踏切が除却されることから、交通量のさらなる増加が想定される。このため、自転車歩行者道の整備を行うことにより歩行者・自転車の安全確保と交通の利便性の向上を図ることを目的とする事業である。	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 歩道整備 延長 L=400m (現況) 幅員： 8.0m 歩道なし (計画) 幅員：16.0m 自転車歩行者道 W=3.5m 	
事業費	<ul style="list-style-type: none"> 全体事業費：約 7.9 億円（国：4.3 億円、府：3.6 億円） (内訳) 調査費等約 0.3 億円 用地費 約 5.6 億円 工事費 約 2.0 億円 	
	【事業費の積算根拠】	【工事費の内訳】
	事業費は積み上げにより算出	交通安全施設工 0.7 億円 舗装工 1.3 億円
事業費の変動要因	【今後の事業費変動要因の予測】 ・用地補償費の算定については、概算額で計上しており、今後、詳細な調査により確定することから、事業費が変動する可能性がある。	
維持管理費	・約 210 万円／年（年間 約 33 万円／千㎡：過去 5 年の実績より算出）	
関連事業	・ J R 阪和線東岸和田駅付近高架化事業	
上位計画等における位置付け	・大阪府都市整備中期計画（案）(H24.3) ・岸和田市交通バリアフリー基本構想	
優先度	・本事業箇所は、東岸和田駅へのアクセス道路として歩行者、自転車利用者も多く、路線バスルートでもあるが、現在歩道がなく危険な状態である。 ・現在事業中である J R 阪和線高架化事業は平成 27 年 2 月に下り線が高架化し、上り線も高架化に向けて事業を進めており、自動車交通量の増加が想定される。 以上のことから、早急な歩行者・自転車の安全確保が必要なため、優先度は高い。	

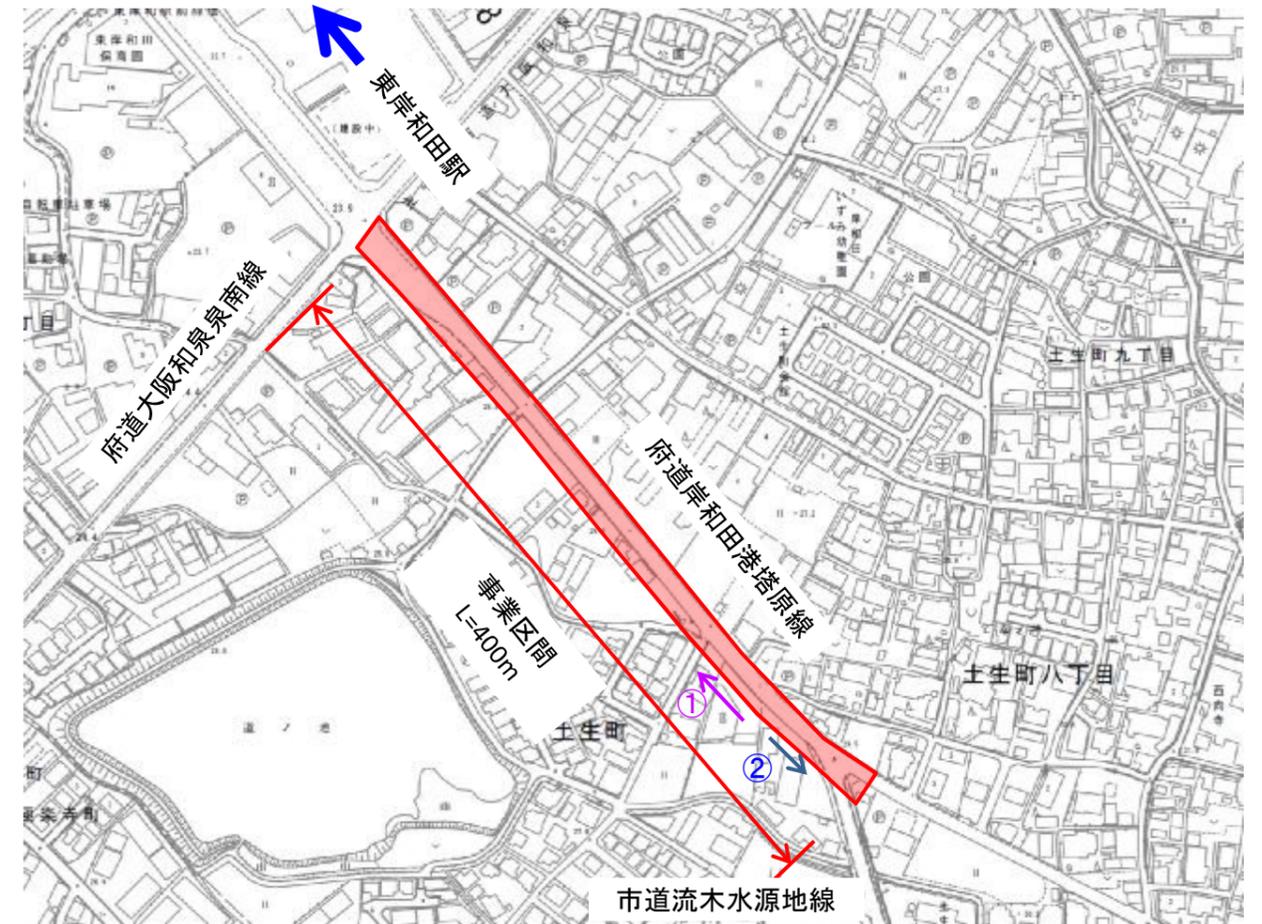
事業を巡る社会経済情勢等	<ul style="list-style-type: none"> 当該道路状況 J R 東岸和田駅へのアクセス道路として利用されているが、本区間には歩道がなく、歩行者・自転車利用者にとって危険な状態である。 交通量 (H22 センサ交通量調査：岸和田市相川町) (H27.4.16 交通量調査: 東岸和田南一踏切) 自動車交通量： 12,858 台／日 自動車交通量： 10,285 台／日 歩行者交通量： 179 人／12h 自転車交通量： 443 台／12h 交通事故発生状況 H24～H26 (3ヶ年)：8 件
地元の協力体制等	・沿線自治会、住民において歩道整備への協力に向けた合意形成が図られている。
事業の投資効果<費用便益分析>または<代替指標>	・交通安全事業における費用便益分析手法は確立されていない。
事業効果の定性的分析(安心・安全、活力、快適性等の有効性)	[効果項目] <安全・安心> ・歩車道分離により、歩行者・自転車等の安全が確保される。 <活力> ・駅アクセスの利便性が向上する。 <快適性> ・十分な幅員が確保された歩道により快適性が向上する。 [受益者] ・道路利用者、沿道住民
事業段階ごとの進捗予定と効果	平成 28 年度：用地測量、設計 平成 29～31 年度：用地買収 平成 31～32 年度：工事
完成予定年度	平成 32 年度
代替手法との比較検討	・歩行者等の安全を確保するためには、通行車両と歩行者等を物理的に分離できる歩道整備を行うことが最善策であり代替案はない。
自然環境等への影響とその対策	・周辺は、市街地が形成されており、本事業において新たに自然環境に影響を与えることはない。
その他特記事項	・特になし
評価結果	○事業実施は妥当 <判断の理由> ・本事業区間は、駅へのアクセスとして利用者も多いが、歩道が無く、危険な状況である。さらに、J R 阪和線も高架化に向けて事業が進められており、交通量の増加が想定される。このため、歩行者自転車道の整備を行うことにより、誰もが安全・安心・快適に通行できる歩行空間が確保できることから「事業実施」とする。

平成27年度 事前評価 主要地方道 岸和田港塔線 歩道整備事業

事業箇所図



平面図



現況写真

写真①



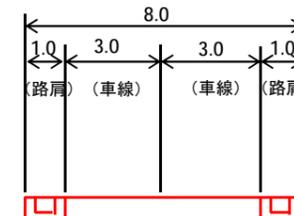
写真②



標準断面図

[単位 m]

(整備前)



(整備後)

